



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 丸紅建材リース株式会社
 コード番号 9763 URL http://www.mcml-maruken.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 桑山 章司
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名) 梶谷 誠 (TEL) 03(5404)8200
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	9,999	△5.8	163	△66.9	331	△48.5	261	△47.0
2019年3月期第2四半期	10,618	6.4	493	81.3	643	28.8	494	16.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 241百万円(△49.4%) 2019年3月期第2四半期 487百万円(6.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	78.49	—
2019年3月期第2四半期	148.19	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	32,089	13,248	41.3
2019年3月期	32,503	13,207	40.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 13,248百万円 2019年3月期 13,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	2.00	—	60.00	—
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2019年3月期中間配当金2.00円は創立50周年記念配当であります。

(注3) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2019年3月期の1株当たり中間配当金は当該株式併合前の金額を記載し、年間配当金合計は「—」としております。株式併合を考慮した場合の1株当たり中間配当金は20.00円、1株当たり年間配当金は80.00円となります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,900	0.2	730	△20.1	1,150	△14.0	870	△14.4	261.01

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	3,429,440株	2019年3月期	3,429,440株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	96,149株	2019年3月期	96,211株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	3,333,243株	2019年3月期2Q	3,333,565株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 今後の見通し	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国経済は、企業業績や設備投資に弱い動きが見られるものの、概ね横ばいで推移し、雇用・所得環境は高水準を維持しております。一方、通商問題をめぐる緊張の増大や中国経済の先行き等、海外経済の減速リスクによる影響が懸念されるなど、不透明な状況が続いております。

当社グループが属する建設業界におきましては、首都圏での大型プロジェクト案件を中心に建設需要は底堅く推移したものの、工事着工や進捗の遅れもあり重仮設鋼材の需要に一服感が見られ、労働力不足や運送費等のコスト上昇の影響が続きました。

このような環境下、当社グループの当第2四半期の業績は、売上高99億99百万円(前年同期比6億19百万円、5.8%減)、営業利益1億63百万円(同3億30百万円、66.9%減)、経常利益3億31百万円(同3億11百万円、48.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億61百万円(同2億32百万円、47.0%減)と前年同期比で減収減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 重仮設事業

首都圏を中心に重仮設鋼材の出庫量が伸び悩み、賃貸稼働量・販売量が前年比で減少となり、売上高は79億30百万円(前年同期比5億91百万円、6.9%減)、セグメント利益はコスト上昇による収益の圧迫を受け、4億2百万円(同3億34百万円、45.4%減)となりました。

② 重仮設工事業

受注済みの工事案件の遅延、着工遅れ等により売上高は12億72百万円(同59百万円、4.5%減)となりましたが、一部案件で利益率が改善したため、セグメント利益は65百万円(同11百万円、21.8%増)となりました。

③ 土木・上下水道施設工事等事業

工事の進捗が進んだことにより、売上高は7億95百万円(同31百万円、4.1%増)となりましたが、大型案件の利益率が低迷したことによりセグメント利益は32百万円(同29百万円、47.0%減)となりました。

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の増加額7億11百万円、有形固定資産の増加額1億28百万円と、受取手形及び売掛金の減少額12億46百万円などにより、前期末比4億13百万円減の320億89百万円となりました。

負債合計は、借入金の増加額7億45百万円と支払手形及び買掛金の減少額11億78百万円などにより、前期末比4億54百万円減の188億41百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益2億61百万円の計上による増加と、配当金1億99百万円の支払による減少などにより、前期末比41百万円増の132億48百万円となり、自己資本比率は0.7ポイント増の41.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億94百万円(前年同期は1億26百万円の支出)となりました。これは主に、売上債権の減少額15億32百万円による増加と、仕入債務の減少額10億71百万円と法人税等の支払額1億84百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、△1億9百万円(前年同期比66百万円の支出増)と

なりました。これは主に、当社工場の設備更新投資によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億25百万円となりました。これは主に、借入金の増加と配当金の支払によるものであります。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物は、前期末比7億11百万円増の13億77百万円となりました。

(3) 今後の見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、東日本復興需要の漸減やオリンピック・パラリンピック需要の基礎工事から建設工事への移行などの減速要素はありますが、老朽化したインフラの更新や都市部での再開発大型プロジェクトの推進は旺盛であり、当面堅調な地合いが続くとともに客先からの材工一式や効率的な商品・工法の要請が強まることが予想されます。一方で労務費や運送費の増加によるコスト上昇、少子高齢化や労働力の流動性の増加による人手不足・高齢化がさらに深刻となり、コスト管理の強化と同時に働き易い職場への変革に取り組む必要があります。

このような環境下、当社グループでは2019-2023年度の5ヶ年を期間とする新中期経営計画「未来への変革と創造への挑戦」を策定し、2019年9月30日に公表しました。

同計画では、次の具体的施策を実施してまいります。

- ① 顧客ニーズに応えられる価値あるサービスの提供
- ② 国内収益基盤整備と海外積極展開
- ③ 就労環境の整備と人材育成

最終年度である2023年度での目標とする主要係数は次のとおりです。

		2023年度目標	2019年度予想
収益目標 (連結)	売上高	250億円	219億円
	親会社株主に帰属する当期純利益	11億円	8.7億円
財務目標 (連結)	自己資本比率	45%	41.5%
	NET有利子負債	83億円	81億円
株主還元方針	配当性向(連結)	27%	26.8%
	年間配当金	90円	70円

なお、上記具体的施策の一つである“海外積極展開”として、当社はミャンマー有力財閥であるシュエタングループ (Shwe Taung Development Co., Ltd.) との間でミャンマーにおける重仮設鋼材リース事業につき、調査・研究を開始することに合意し、覚書を締結しました。詳細は本日公表の「ミャンマーにおけるシュエタン社との覚書締結について」をご覧ください。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は期初予想通り進捗しており、現時点において、2019年5月10日公表の2020年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	665	1,377
受取手形及び売掛金	6,606	5,359
電子記録債権	2,197	1,911
建設機材	10,203	9,957
商品	481	634
材料貯蔵品	261	258
未成工事支出金	101	121
その他	182	439
貸倒引当金	△59	△45
流動資産合計	20,640	20,014
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,027	8,027
その他(純額)	1,007	1,135
有形固定資産合計	9,034	9,163
無形固定資産	10	13
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	115	127
その他	2,722	2,792
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	2,817	2,899
固定資産合計	11,863	12,075
資産合計	32,503	32,089

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,086	5,907
電子記録債務	1,247	1,363
短期借入金	2,700	3,700
1年内返済予定の長期借入金	1,670	1,580
未払法人税等	204	54
引当金	249	210
その他	1,695	1,702
流動負債合計	14,853	14,518
固定負債		
長期借入金	3,395	3,230
退職給付に係る負債	26	24
その他	1,021	1,068
固定負債合計	4,443	4,322
負債合計	19,296	18,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	7,555	7,617
自己株式	△136	△135
株主資本合計	10,995	11,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	263	225
土地再評価差額金	1,975	1,975
為替換算調整勘定	△57	△39
退職給付に係る調整累計額	29	29
その他の包括利益累計額合計	2,211	2,191
純資産合計	13,207	13,248
負債純資産合計	32,503	32,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	10,618	9,999
売上原価	8,977	8,727
売上総利益	1,640	1,271
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	490	488
福利厚生費	124	119
地代家賃	88	89
退職給付費用	11	7
賞与引当金繰入額	158	137
その他	273	266
販売費及び一般管理費合計	1,147	1,108
営業利益	493	163
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	18
持分法による投資利益	140	144
その他	28	41
営業外収益合計	183	203
営業外費用		
支払利息	24	24
その他	8	11
営業外費用合計	33	35
経常利益	643	331
税金等調整前四半期純利益	643	331
法人税、住民税及び事業税	145	43
法人税等調整額	3	26
法人税等合計	149	69
四半期純利益	494	261
親会社株主に帰属する四半期純利益	494	261

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	494	261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	△38
退職給付に係る調整額	1	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△26	18
その他の包括利益合計	△6	△20
四半期包括利益	487	241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	487	241

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	643	331
減価償却費	94	100
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△12	△12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△13
受取利息及び受取配当金	△13	△18
支払利息	24	24
持分法による投資損益(△は益)	△140	△144
売上債権の増減額(△は増加)	652	1,532
たな卸資産の増減額(△は増加)	141	95
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,782	△1,071
未払消費税等の増減額(△は減少)	99	△20
引当金の増減額(△は減少)	△2	△38
その他	149	△311
小計	△156	451
利息及び配当金の受取額	109	51
利息の支払額	△24	△23
法人税等の支払額	△70	△184
法人税等の還付額	15	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△126	294
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△38	△101
その他	△4	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43	△109
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100	1,000
長期借入れによる収入	600	600
長期借入金の返済による支出	△880	△855
リース債務の返済による支出	△25	△20
配当金の支払額	△199	△199
その他	△0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△604	525
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△774	711
現金及び現金同等物の期首残高	2,246	665
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,472	1,377

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,522	1,331	764	10,618	—	10,618
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,522	1,331	764	10,618	—	10,618
セグメント利益	736	54	61	852	△358	493

(注) 1 セグメント利益の調整額△358百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,930	1,272	795	9,999	—	9,999
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,930	1,272	795	9,999	—	9,999
セグメント利益	402	65	32	500	△337	163

(注) 1 セグメント利益の調整額△337百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。